

爽やかな歌声と感謝の言葉を残し、 卒業生たちは巣立っていきました。

去る 3 月 9 日 (金)、西陵中学校 3 年生 77 名は卒業の日を迎えました。あいにくの空模様でしたが、厳粛な雰囲気の中、体育館入場、開式のことは、国歌・校歌斉唱、卒業証書授与、学校長告諭・・・と式は進行していきました。がその中、卒業生も在校生も微動だにせず、静かに座り、卒業式を一人ひとりが創り上げているかのように感じられ、私は本当に感動しました。当たり前のことかもしれませんが、その当たり前のことが出来なくなってきている、集中できない生徒が増えつつある中、粛々と時間が流れていく様子は素晴らしいのひと言でした。

やがて、別れの歌となり「この地球のどこかで」を全校合唱そして「大地讃頌」を卒業生が合唱した後、卒業生から本校職員に静かな語り口ながら、しかし熱い感謝の言葉が述べられ、式場内は明らかに一変しました。締め括りに彼らが残していったものは、爽やかな歌声と 3 年生という素晴らしい学年集団があった、という確固たる存在感でした。本当に素晴らしい卒業式でした。来賓の方からも口々にお褒めの言葉を賜わり、今までの取り組みの成果が多少なりとも実を結びつつあるのかと推察しました。3 年生の皆さん、本当に卒業、おめでとう。



私たちが決して忘れてはならない日

2011. 3. 11

東日本大震災は、11 日で発生から 1 年になります。死者は 1 万 5 8 5 4 人行方不明者は 3 1 5 5 人に上り、仮設住宅などで避難生活を強いられている人は 3 4 万人を超えます。東京電力福島第一原発事故があった福島県では、県外に避難した 6 万 3 千人が帰郷の日を今も待ち続けています。

1 年後の今日、追悼行事が各地で行われました。震災で亡くなられた方たちのご冥福を祈り、午後 2 時 4 6 分には黙祷をささげる方も多かったのではないのでしょうか。本校の生徒の皆さんも同様にこの日を迎えたことと思います。

1 年たちました。でもまだ 1 年です。復興までには、これからまだ、長い道のりとなるでしょう。この状況を踏まえ、自分はどうするのか？一人ひとりがもう一度考えなければならない時ではないのでしょうか。



（保護者の皆様へ）

近年、子どもたちによる携帯電話のメールやインターネットを利用する機会が急激に増加してきています。それによって、生活リズムが乱れてきたり、友達関係がネット上だけでのつながりになっていたり、と生活や人間関係づくりにさまざまな影響を与えています。こうした中で、インターネット上の非公式サイトなどを利用して特定の生徒に対して誹謗・中傷が行われたり、携帯のメールを利用して、さまざまなトラブルに巻き込まれたりする事例が多数聞かれます。

本校生徒においても例外ではなく、先日「アメンバーズ」を利用してネット上に交流サイトを作っている生徒がいる。個人情報保護やネット犯罪防止の観点から言っても、望ましくない行為なので、事が大きくなならないうちに、指導をしてはどうか」というご指摘をいただいたところです。これを受けて、本日、集会を開き、生徒には以下のようなことを話しました。

- ・インターネットにはさまざまなコミュニケーションツールがあるが、十分に気をつける必要があり、安易にかかわらないようにすべきであること。
- ・万一、人を誹謗中傷するような行為があったとしたら、これは絶対にゆるされる行為ではないのだ、ということ。
- ・他人を誹謗中傷する行為は犯罪であり、ときには警察が動くこともある、ということ。

（※警察からの要請があれば掲示板の運営会社は記録を提出するので、だれが書き込みをしたか、すぐにわかる仕組みになっている）

- ・サイトの中で知らずに不正・違反ツールを使用したゲームを行っているケースもあり、会社の出方次第では刑事事件にもなりかねない。その場合は、多大な損害賠償も生じることがあるのだ、ということ。

その上で、現在、非公式サイト等にかかわっている生徒がいたら、抜けるように促し、今後も、安易にかかわらないように話しました。また、今もしこのようなことで困っていることや心配なことがあったら、直ちに家の人や担任の先生に、相談するよう伝えました。

以上のような形で「先生たちはみんなが事件やトラブルに巻き込まれないように守りたいのだ」ということを生徒に呼びかけたところです。

すでに教育委員会や警察でも、非公式サイトなどの監視を行っていますし、学校の方でも注意を払っています。しかし、中には警戒心のない中学生、好奇心の強い時期を迎えた中学生を意識的にねらってくる人もいます。今後、ご家庭でも十分に気をつけていただき、次のようなことについてもぜひ、話し合ってくださいと思います。

- ・怪しげなサイトには絶対にアクセスをさせない。身に覚えのないメールは一切無視する。

（※出会い系サイト、架空請求やフィッシング詐欺、不幸の手紙や嫌がらせなどのチェーンメール、ヤミ金融や不法な物品を売りつける販売系メールなど）

- ・家庭でのケータイ・パソコン使用のルールを決める。

（※ケータイやパソコンを使用する場所、相手、時間帯、内容、方法、経費など）

- ・万一トラブルに巻き込まれたら、直ちに、お家の人や先生に相談する。

お子様を守るために今一度、注意を喚起するよう、重ねてお願いいたします。

